(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2026 年 6 月 12 日
第 1.0 版作成

# 2010 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に
# 当院において子宮筋腫で子宮全摘術の治療を受けられた方へ

## ―「GnRH アゴニスト/アンタゴニストと子宮筋腫縮小における検討」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。


| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 研究責任者 | 川崎医科大学総合医療センター | 産婦人科学 | 特任教授 | 中村圭一郎 |
| 研究分担者 | 川崎医科大学産婦人科学 | | 教授 | 本郷淳司 |
| | 川崎医科大学産婦人科学 | | 教授 | 味村和哉 |
| | 川崎医科大学産婦人科学 | | 教授 | 太田啓明 |


### １．研究の概要

子宮筋腫の治療は手術療法だけでなく、薬物療法においても進歩を遂げている。手術療法では従来の開腹手術から患者さんの身体的負担が少ない腹腔鏡下手術やロボット支援下手術が広く行われるようになった。薬物療法では GnRH アゴニストや GnRH アンタゴニストが使用され、投与によって子宮筋腫が縮小し、開腹手術に代わって低侵襲手術を選択できる場合も出現している。しかしその一方、これらの薬剤による筋腫縮小効果には個人差があり、投与期間にも制限がある。薬剤が子宮筋腫に作用する仕組みには、まだ明らかになっていない点が多く残されている。そこで本研究では、これまでに手術で摘出された子宮筋腫の検体と診療情報を用いて、薬物治療前後の筋腫縮小率を評価。併せて、検体から DNA および RNA を抽出し、関連する遺伝子を解析する。これらの結果から GnRH アゴニストおよび GnRH アンタゴニストが子宮筋腫に及ぼす作用を明らかにすることを目指している。

### ２．研究の方法

#### 1）研究対象者

2010 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学総合医療センター、川崎医科大学附属病院において、子宮筋腫で GnRH アンタゴニスト・アゴニスト投与に関わらず子宮全摘術の治療を受けられた方を研究対象とします。

#### 2）研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 12 月 31 日

#### 3）研究方法

上記の研究対象期間に当院において子宮筋腫で GnRH アンタゴニスト・アゴニスト投与に関わらず子宮全摘術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報を抽出し、腫瘍検体（FFPE）を用い、GnRH アンタゴニスト・アゴニスト投与後と子宮筋腫縮小率の関連因子解明についての検討を行います。

#### 4）使用する試料・情報の種類

１）子宮筋腫（FFPE）

２）研究対象者の基本情報：罹患歴、妊娠・分娩回数、分娩年齢、画像所見、子宮筋腫縮小率、病理組織所見

**5)試料・情報の保存及び二次利用**

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合医療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

**6) 研究計画書および個人情報の開示**

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 9 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

**＜問い合わせ・連絡先＞**

川崎医科大学総合医療センター　産婦人科
氏名：中村圭一郎
電話： 086-225-2111
内線 48020（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）
ファックス：086-232-8343
E-mail：k-nakamu@med.kawasaki-m.ac.jp

**３．資金と利益相反**

この研究の実施に際しては学内研究費を用いて、解析を行います。
研究をするために必要な資金をスポンサー （製薬会社等）から提供してもらうことにより、 その結果の判断に利害が発生し、 結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいますが、本研究では特に利益相反はありません。 本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。